



～ 明るい産業へ ～

新潟県では甘エビを対象に日本初となるIQ（個別漁業量割り当て）制度導入のモデル事業を開始。漁獲量に規制を設け流通量をコントロールすることで、「魚価が上がらない⇒乱獲して販売量を増やす⇒魚価が上がらない」という負のスパイラルに歯止めをかけようとしています。生産者には個別に漁獲量が設定されているので、より効率的で付加価値の高い漁が求められます。国内でも先進的な取り組みに関係者の期待は膨らんでいます。

～ 築地仲卸の引っ越し ～

築地仲卸 659 事業所中、豊洲新市場に移転する意向を示した仲卸は 540 事業所になる見込みだそうです。残りの 119 事業所については殆どが廃業の決断をするだろうと予想しています。戦後の経済成長と共に日本の胃袋を支えた築地の仲卸はピーク時には 1500 事業所を超えていたそうです。バブル崩壊、インターネットや流通の多様化という激動の時代を経てきた「築地」。将来、豊洲へ移転しても、食のニーズの多様化や安定供給上、不可欠な大切な役割をしっかりと担って頂きたいものです。

～ 冷凍赤身マグロ高値 ～

冷凍赤身マグロ相場が上昇しています。冷凍赤身相場の指標とされるメバチマグロ漁はインド洋、太平洋など各地で展開されていますが、水揚げ量は少ないそうです。国内在庫も減少傾向にあり、日本商社も在庫確保の動きを見せています。一方で相場が急落する可能性もあるとの事。中国と韓国に大量に製品在庫があり、日本の相場を見て放出してくる可能性があるそうです。当面は大きな変動はないようですが、年末に向けて動きがありそうです。

入荷状況



- 8月いっぱい底引き漁は禁漁です。解禁は9月になります！！
- 例年ですと地物のコゾクラ(ぶりの幼魚)の入荷が増えてくる頃ですが今年は遅れているようです。(100g～250g) (金沢、能登)
- 岩カキはお盆を境に量、質ともにピークを迎えます。(8月いっぱい 能登)
- カレイやバイガイなどは刺し網で漁獲されます。価格もお求め安くなっています。(能登、珠洲)
- アカイカも九州から地物の入荷が増えてきます。型もしっかりしてきました。(美川、金沢)

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。